# 地域学校協働活動

## *地域学校協働活動とは？*

地域学校協働活動とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動です。

## *重点課題と設定目標*

北方町では、地域学校協働活動を推進するにあたり、重点課題を抽出し目標を設定しています。令和５年度の目標及び評価は次ページのとおりです。

## ●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

| 実施自治体名 | 課題の類型1 | 課題の類型2 | 課題の詳細 | 左記課題の解決のために本事業で取り組むこと | 本事業で達成する目標（アウトカム） | 目標の達成度を測る指標 | 現状の数値 | 単位 | 本年度の目標値 | 本年度の実績値 | アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等） | | 目標等の公表先 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 214213_北方町 | ②学校と地域の課題 | 青少年の健全育成 | 地域と学校が共に『たくましい北方の子』を育てることが、北方コミュニティ学園協議会の願いである。これまで、町内の幼保小中高を一つのコミュニティと位置づけ、子どもたちに様々な体験の場を提供すべく、地域との連携を築いてきた。令和5年度からは、本町の3小学校、1中学校が2つの学園（義務教育学校）に編成され、また、幼保からなる町立こども園もスタートする。今まで、それぞれの園・学校が大切にしてきた地域との連携事業のよさを生かしつつ、新たな連携の形をどう構築するかが課題である。 | 町内の各園・学校の学校運営協議会の再編とその活動内容について、学校と共に検討し、町として支援できることを考え、実行する。年3回の北方コミュニティ学園協議会では、それぞれの立場で情報交流をすることで、今まで大切にしてきた活動の継続と新たな連携の形を探る。具体的には、今年度まで各園・学校が培ってきた地域連携事業を少なくとも2つ以上継続する。また、義務教育学校の9年間の一貫教育やこども園の幼保連携のよさを生かし、その方法を発展させる。 | 子どもたちが、地域との関わりや縦割り集団での活動を通して、自主性や協調性を育むとともに、自らが進んで発信したり、互いに思いやりの心で接したりできる力を養う。 | 自校での評価アンケートにおいて、「あてはまる」「よくあてはまる」と答えた割合。①自ら課題解決に向けて考え取り組める ②自分や仲間ののよさを知り、人の役に立つ人間になりたいと思う ③ボランティア活動や地域の活動に進んで参加すると答えた割合 | ①2.6<br>②3.2<br>③3.7 | 4段階 | 各項目3.5以上 | ①79<br>②82<br>③60 | | 学園、こども園の学校運営協議会を再編。また、私立幼稚園、町立保育園、岐阜農林高校も含めた幼保小中高の連携を図る北方コミュニティ学園協議会も年3回実施した。R5年度は、「地域は子どもたちにどのような活動を提供できるか」「子どもたちは地域にどのような貢献ができるか」をテーマとし、それぞれの立場から多くのの提案がなされている。 | www.town.kitagata.gifu.jp/kirari/second/social_education.html |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |